



大豊作のマツタケ

地域自治センターだより

平成22年/2010
11.16 | No.22 |



5、6年生で約8キロのマツタケを収穫



武石小学校の5、6年生が、10月8日と13日に武石財産区有林でマツタケの収穫体験を行いました。
今年、マツタケが大豊作。足の踏み場を心配するほどにマツタケが生えていました。
10月13日にマツタケ収穫を体験した6年生は、1人1本ずつマツタケを折らないように慎重に抜き、手に取ったマツタケを観察したり、香りを楽しんだりして

いました。
山から戻る途中で、声が響くことに気付いた児童から「歌を歌いたい」と提案があり、みんなで選んだ歌は「武石讃歌」。大自然の恵みに感謝しながら歌いました。武石のすばらしい自然の中で、児童たちの武石を愛する気持ちが伝わる歌声でした。

収穫したマツタケは、10月18日の給食でマツタケご飯にして全校児童が食べました。6年生の教室では、「マツタケの香りが口の中に広がって、とってもおいしい」と話しながら、競争するようにかわりをしていました。



武石公民館だより

No.22

間 武石公民館 Tel 85-2030

第32回 武石体育祭



10月3日武石総合グラウンドで第32回武石体育祭を開催し、武石地域の13分館から約700人が「スポーツの秋」を楽しみました。

力と呼吸をあわせて挑む綱引きやむかで競争、みんなの視線がくぎ付けになった保育園児のかわいいダンス、こ

の一番の声援が送られた年代別リレーなど、子どもも大人も力を合わせ、会場内に集まったみなさんの汗も笑顔もキラキラと輝いていました。

分館が一つになり、そして、地域の和が一段と深められた一日でした。

大会結果

優勝 MJINGA (上田市) 1時間19分45秒
準優勝 柏日体高等学校 (千葉県) 1時間20分35秒
第3位 松本自衛隊 (松本市) 1時間20分36秒

練馬区長賞 チームみやけん 1時間31分45秒
※武石地域から参加した最上位チーム



優勝したMJINGAチームは3連覇



今大会の総司会
テレビ信州
藤原里瑛アナウンサー



駅伝大会の成功を願って

武石建設業協会など大勢の皆さんにコース沿いの草刈りや道路清掃にご協力いただきました。ありがとうございました。



①力強い選手宣誓 ②ふるさと体操で準備運動 ③保育園児のかわいいダンス ④1着でゴール!年代別リレー ⑤呼吸を合わせてむかで競争 ⑥ボールを落とさないように回して引いてつないで⑦大物が釣れた大公望 ⑧景品ゲット!! ⑨力を合わせて踏ん張って

第21回 ともしびの里 駅伝大会

10月24日、第21回ともしびの里駅伝大会が開催されました。県内外から82チームが参加し、1本のタスキをつなぎ、ともしびの里を走り抜けました。

今年は、特別ゲストに谷亮子さんを招き、開会式での激励の言葉に参加者たちは力をもらい、大きな拍手が沸き起こりました。

「日本一の草駅伝」を目指す当大会にふさわしく、順位を競うチーム、走ることを楽しむチーム、走った“後”が楽しみなチームなど様々なチームが参加し、すべてのチームが最終走者までタスキをつなぎゴールしました。



開会式終了後、谷さんを大勢の選手たちが囲みました。



握手や写真をお願いすると笑顔で応えてくれました。



依田窪南部中学校

第38回 紫苑祭

9月24日と25日の2日間、依田窪南部中学校で第38回紫苑祭が開催されました。今年のテーマは「飛翔〜無限の未来へ羽ばたこう〜」。このテーマには、生徒会のスローガン「全校生徒一人一人が積極的に生徒会へ参加する」に関係して、一人ひとりが鳥のつばさのように羽ばたける紫苑祭にするという思いが込められているそうです。



1日目は、各教室での展示見学や吹奏楽部によるステージ発表が行われ、紫苑祭の大きな行事の一つである体育祭が行われました。体育祭では、大縄跳びや総力リレー、騎馬戦などの種目がクラス対抗で行われ、あいにくの天気でしたが、雨雲を吹き飛ばすほどの熱気に包まれていました。



今年のイメージキャラクター
ヒシヨウくん

2日目は、体育館で文化部による発表や生徒会が企画するフリーステージが行われ、いよいよ合唱コンクールです。最後の紫苑祭になる3年生の教室では、開始時間の直前まで練習している姿も見られました。合唱コンクールの最後は3年生全員でのハレルヤ。美しく力強い歌声が体育館に響きわたりました。

一人ひとりが力を発揮する姿や、クラスの団結力を感じることができた2日間でした。

長寿を祝う 武石地域敬老会



9月11日、武石地域敬老会が開催され、約250人が武石公民館に集まり長寿を祝いました。

今年、武石地域内で88才の米寿を迎えた方は31人、99才以上の方は7人。会場内では、話に花が咲き、あちらこちらから笑い声が聞こえてきました。

みなさん、おめでとうございます。



第6回 9月29日開催

●市からの諮問事項『第1次上田市総合計画「地域まちづくり方針」の見直しについて』

市から地域協議会に諮問がありました。平成20年度に定めた、武石地域まちづくり方針を、平成27年度までの後期基本計画に反映させるため見直しを図るもので、地域協議会で検証と見直しを行い、来年3月までに意見をまとめ答申します。



●雲溪荘の運営の現状について

雲溪荘の経営内容や改善に向けての取り組みなどの説明がありました。

●丸子図書館の建設概要について

カネボウ跡地に新しく建設される丸子図書館の位置や内容について報告がありました。

第7回 10月20日開催

●諮問事項の協議

9月に諮問された第1次上田市総合計画「武石地域まちづくり方針」の見直しについて協議を行いました。地域まちづくり方針は7項目（別表）からなっています。協議では、項目ごとに実施してきた事業を検証し今後の課題について意見を出し合い、変更の必要があるか検討しました。

会議報告

第3回 武石地域全域公園化構想検討会議

10月14日、武石地域自治センターで開催した会議には、武石地域で造園業や林業に従事し、地域の植栽に詳しい3名の皆さんに参加していただき意見を伺いました。

武石地域に適応し広く植栽していく花木は何か、武石公園など既存公園の整備をどう進めていくべきかなど、これまで検討してきた資料を基に専門的なアドバイスを受けながら話し合いを実施し、構想の具体化に向けた提案をいただくことになりました。

今後は、提案をもとに協議をとりまとめ、地域協議会に報告していく予定です。

武石地域まちづくり方針

- 1 すみよい地域づくりの推進と
地域情報化の展開
- 2 地域をつなぐ道路交通網の整備
- 3 魅力ある農林業の創出と商工業の振興
- 4 都市・農村交流と広域的な観光の展開
- 5 地域に根ざした医療・保健・福祉・介護の充実
- 6 地域の特性を活かした
教育の推進とスポーツの振興
- 7 明日を担う教育、子育て支援施設の整備

武石のいいところ みつけた♪

武石保育園児の体験記

～サツマイモ 掘ったぞ! 食べたぞ! の巻～

6月に武石地域自治センター東側の畑に植えたサツマイモが収穫の時期を迎え、園児たちは、10月20日にサツマイモ掘りに出かけました。

生活改善グループのみなさんに教えてもらいながら土を掘っていき、サツマイモがたくさん収穫できました。

収穫したサツマイモは、10月28日の祖父母参観日に焼きイモにしました。焼きイモがおいしくなるようにサツマイモを一生懸命洗った園児たち。おじいちゃんやおばあちゃんと顔を見合わせて「温かくて甘くておいしい」と言って食べていました。



実りの秋 ～稲刈り交流会～

練馬区立石神井台小学校と武石小学校が稲刈り交流

10月7日、練馬区立石神井台小学校の5年生と武石小学校の5年生が、武石体育館南側の学校田で稲刈り交流を行いました。

体育館で歓迎式典が行われた後、学校田へ移動し、4、5人が1組の班にわかれ、稲を刈る人、



刈った稲を運ぶ人、紐で稲を束ねる人と作業を分担し、交代しながら作業しました。石神井台小学校の児童の中には、ぬかった田んぼに足が埋まり長靴が抜けなくなってしまう子や泥で汚れてしまうことを気にしている子もいましたが、時間が進むにしたがって歩き方のコツも覚え、ズボンを泥だらけにして稲刈りを楽しんでいました。中には、裸足になって作業する児童もいました。

収穫されたもち米は、後日石神井台小学校にも贈られます。また、武石小学校では、12月に学校田の管理などに協力していただいた地域の皆さんを招き開催する収穫祭で使用します。

収穫されたもち米は、後日石神井台小学校にも贈られます。また、武石小学校では、12月に学校田の管理などに協力していただいた地域の皆さんを招き開催する収穫祭で使用します。



よだくぼ青年農業者クラブと山の子学園が稲刈り交流

5月30日に依田窪青年農業者クラブと山の子学園で田植え交流会の会場になった依田窪病院北側の田んぼの稲が収穫の時期を迎え、約20人が参加し、10月14日に稲刈り交流会を開催しました。

青年農業者クラブの皆さんがバインダーで稲を刈り、山の子学園の皆さんが、ハゼのそばに稲を運び、ハゼかけを中心作業しました。山の子学園の皆さんの



中に稲刈りを経験したことがある人が多かったこともあり、約900㎡の田んぼの半分の稲がハゼにかかるまでの時間は約1時間。普段は大型のコンバインで稲刈りをしていることが多い青年クラブの皆さんは、「間に合わない！」と言いながら、山の子学園の皆さんの作業の速さにあわててバインダーを押ししていました。

この田んぼに植えられていたのは、よだくぼ地域では栽培されていないもち米の「モリモリモチ」。モミの様子から10俵を超える収穫が予想され、12月中旬に開催予定のもちつき交流会も盛大に開催できそうです。



第4回 上田市花と緑のまちづくりコンクール 奨励賞受賞!

武石地域自治センター東側にある「はーとふるガーデン」。この花壇が、第4回上田市花と緑のまちづくりコンクール個人の部で奨励賞を受賞しました。

この花壇を管理する柳沢裕子さん、川合かほるさんは「武石地域内に誰もが気軽に立ち寄りたくなる場所を作りたい」との思いから、花壇作りを始めました。手入れの行き届いた花壇には、季節ごとに様々な花が咲き、多くの人が立ち止まり、花壇を眺めています。

柳沢さんは「市の補助事業もあり、今後は家庭や地域に広がるように、誰もが花壇づくりを学べる交流の場としても使ってもらいたい」と話していました。

